

「みなさん、 バスに乗っていますか？」



路線バスをめぐる動き

今、国全体の人口が減少に転じていますが、中でも北海道は47都道府県の中で最も減少数が多い地域となっています。

このような中、JR北海道が抱える赤字鉄道路線の廃止や見直しに向けた協議が注目されています。民間バス路線では、今年に入って、最終的には撤回されたものの、国の赤字路線バスに対する補助率が45%から40%への引き下げ方針が出されるなど、道内のバス事業者を取り巻く状況も年々、厳しさを増しています。

路線バスの現状

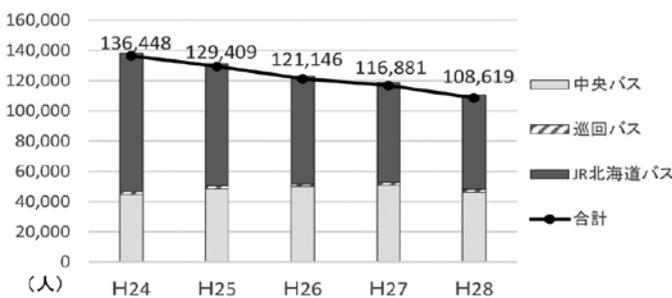
現在、町内には、江別・新札幌方面と栗山・夕張方面を結ぶ夕鉄バス、夕張太地区を經由して北広島・大谷地方面を結ぶJR北海道バス、そして高速道路を經由して札幌都心へ向かう北海道中央バスが運行する高速バスに加えて、国の補助金を活用して、毎週、火・木曜日に町内を回っている巡回バスと、複数のバス路線があります。みなさん

は、この1年間で何回バスを利用しましたか？

通勤や通学で利用している人は、ほぼ毎日、自動車を持っていない人は必要に応じて利用されていると思いますが、自動車をお持ちの人や家族・友人に送迎してもらえない人は、もしかしたら一度も乗らなかつた、という人もいるでしょう。

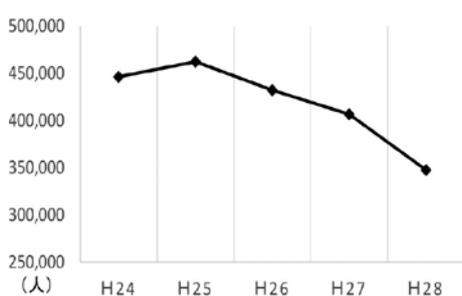
ここで、夕鉄バスを除く2社と巡回バスの町内利用者の過去5年の推移をみてみましょう。(グラフ①)

グラフ① 町内バス乗降者数の推移(夕鉄バスを除く)



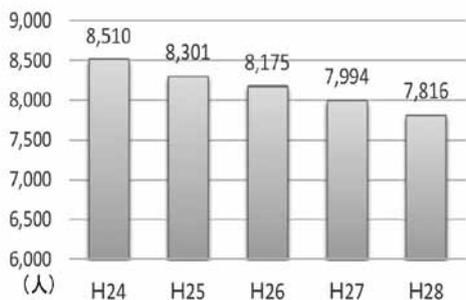
※参考：町内・町外の利用者区別を持っていない夕鉄バスの町内を經由する路線全体の町内外乗降者数。(グラフ②)

グラフ② 夕鉄バス町内外乗降者数



こちらは、各年10月1日現在の南幌町の人口動態です。(グラフ③)

グラフ③ 南幌町の人口(各年10/1現在)





三浦友菜さん(西町) 左
川上夏海さん(西町) 右

江別の高校に通うため、毎日自宅から高校前までバスを利用しています。

朝の時間帯は便数が多くて問題ありませんが、夜の便数が少ないと感じています。時間が合わない時は、近くの

ショッピングセンターなどで時間を潰さなければならないので少し不便です。休日遊びに行くときにもバスを利用していますが、どのバスももう少し遅い時間のバスがあれば利用者も増えるのではないかと思います。南幌町は公共交通手段がバスしかないの、通学手段として欠かせない存在だと感じています。

南幌町内を運行する路線バスは、南幌町を起点とする新さっぽろ駅行きと、札幌大通り行き、栗山町・夕張市を起点とする新さっぽろ駅行きがあります。

朝夕の時間帯は、通勤・通学や通院など比較的多くのお客様にご利用いただいておりますが、日中につきましては利用者

も減る傾向があり、一部の路線は国・北海道より補助金の交付を受けて路線の維持に努めております。しかし、その他の路線は減便を目途にダイヤ改正を実施し路線を維持している状況ですが、今後さらなる減便が必要となることも考えられます。

路線バスは高齢化に伴い地域生活における移動手段としての役割が大きくなると思われまますので、路線維持のためにも多くの皆様のご利用をお願いします。

今後も安全・安心な輸送に取り組んでまいります。



夕張鉄道株式会社
野幌営業所長 佐藤憲明さん

バス事業者の取組み

このような中、バス事業者も利用者の減少を静観しているだけではありません。ICカードやノンステップバス(低床型バス)の導入による利便性向上や高齢化社会への対応、ハイブリッドカーの導入による排出二酸化炭素や燃料費の削減、そして、なによりも深刻なドライバー不足の中、利用者への影響を最小限に考えた苦心のダイヤ編成など、公共交通を担う使命感のもと、様々な企業努力が続いています。

平成24年から平成28年までの人口減少率はマイナス8.2%ですが、グラフ①の夕鉄バスを除くバス利用者の減少率は、これを大きく上回るマイナス20.0%となっております。個別では前年比で増加しているところもありますが、総じて、バス利用者が人口減少率以上に減っている傾向にあると言えます。

み

なさん、バスに乗っていますか？

公共交通は、安全・安心で、誰もが住みやすいまちづくりを実現するためにも、絶対に欠かせません。

通勤や通学者だけでなく、高齢化が急速に進む地域において、現在はもちろん、将来、自動車を運転しない高齢者にとっても日常生活を送る上で大事な手段となりますが、このまま利用者が減少すると、バス事業者の努力があっても、やがては、路線バスの縮小や廃止が検討される日がやってくるかもしれません。

昨年度実施した第6期総合計画の町民アンケート(対象：20歳以上の男女1,100人、回答総数488人)では、「あなたが日常的に利用する移動手段は何ですか？(複数回答可)」という問いに対して、実に87.7%の方が「自動車」と回答し、また、「あなたは、町内の公共交通機関を利用していますか？」という問いに対し、53.3%の方が「利用していない」と回答しました。

一方で、「あなたは、南幌

町の人口減少を抑えるためには、町としてどのようなことを重点的にすべきだと思いますか？(複数回答可)」という問いに対しては、「公共交通機関の充実」を挙げた方が58.8%と最も多くなっており、「今、公共交通機関はほとんど利用していないが、まちづくりの面で公共交通の充実が必要」と感じている方が多くなっています。

将来にわたって持続可能な公共交通を維持・確保し、私たちが快適な日常生活を送るためにも、今、町民一人ひとりが地域の公共交通の現状とこれからについて、考える時期が来ているのではないのでしょうか？

